

TESmart

# 取扱説明書

2×2DP デュアルモニター

KVMスイッチ



DKS202 マスター 24

To Enjoy Smart

DKS202 マスター 24

英語

**TESmart**

英語

## はじめに

このたびは、Tesla Ele Technology Co.,Ltd.（当社）製 KVM スイッチをお選びいただき、誠にありがとうございます。本取扱説明書では、本製品の操作方法および使用方法についてご案内します。ご使用前に、本取扱説明書をよくお読みください。ご不明点、ご意見、ご提案がございましたら、以下のメールアドレスまでお問い合わせください：  
support@tesmart.com.

## 著作権について

Tesla Elec Technology Co.,Ltd が作成した本取扱説明書は、書面による許可なく、いかなる個人または団体も複製・翻訳することはできません。また、本取扱説明書は、電子的・機械的手段、複写、録音など、いかなる形式・方法であっても商品取引に利用したり、業務上の慣行や営利目的の活動に使用したりすることを禁じます。本取扱説明書に記載されている商号およびブランド名の権利は、各社に帰属します。

## 製品情報

TESmart 製品の詳細や、より快適にお仕事を進めるための活用方法については、以下の TESmart 公式サイトをご覧ください。また、TESmart 正規販売店までお問い合わせください。

---

[www.tesmart.com](http://www.tesmart.com)

---

# 目次

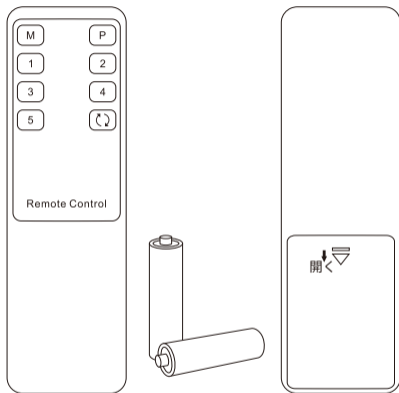
1. 安全上の注意・警告	01	9 EDID エミュレーター	
2. バッテリーの説明	02	9 マウスホイール切替	
3. 保証に関するご案内	03	10. 操作方法	24
4. はじめに	04	10.1 フロントパネルボタン切替方法	
5. 特長	05	10.2 IR リモコン	
6. 同梱品一覧	06	10.3 キーボードホットキー	
7. パネル各部の説明	07	11. ホットキー組み合わせの変更	32
8. 接続の説明	11		
8 接続図			
8 接続準備			
8 接続手順			
8 KVM ワークベンチ			
9. 機能の説明	18		
9.1 表示モードの説明			
9.2 キーボード／マウスエミュレーションモード			
9.3 内蔵ネットワークスイッチ			

## 1. 安全上の注意と警告

ヒント：ご使用前に、デュアルモニター KVM スイッチの安全上の注意と警告を必ずよくお読みください。取扱説明および安全上の注意・警告に従って使用し、製品の不要な損傷や、使用者に及ぶおそれのある危険を防いでください。

- ⚠ 本製品を水気のある場所に近づけないでください。
- ⚠ お手入れは乾いた布で行ってください。
- ⚠ 取扱説明に従って使用し、通気口をふさがないでください。
- ⚠ 放熱器、蓄熱器、煙突、その他の発熱する機器（オーディオアンプを含む）など、火気・熱源の近くに本製品を置かないでください。
- ⚠ 感電や製品故障を防ぐため、濡れた手で本製品や電源コードに触れないでください。また、本製品を水に濡らしたり、湿気の多い場所で使用しないでください。
- ⚠ 雷雨の日、または長期間使用しない場合は、本製品の電源プラグを抜いてください。
- ⚠ 本製品およびバッテリーを、直火や過度に高温となる環境にさらさないでください。使用済みバッテリーは指示に従って処分してください。
- ⚠ 許可なく本製品を分解したり修理したりしないでください。

## 2. 電池について



ヒント：一部の配送業者の安全要件により、リモコンには電池が同梱されていません。ご使用前に単4形乾電池を取り付けてください。

注意：リチウム電池を不適切に廃棄すると、爆発の原因となるおそれがあります。電池を火の中に投げ入れないでください。電池は子ども手の届かない場所に保管してください。使用済み電池は、地域の規則に従って処分してください。



### 3. 保証について

本製品は、出荷日から1年間、材料および製造上の欠陥がないことを保証します。保証期間中に、通常の使用状態で本製品に不具合が認められた場合、機械的・電氣的、その他の乱用や改造を受けていないことを条件に、当社にて修理または交換いたします。保証対象外の条件で故障した場合は、修理時点で適用される部品代および作業費の現行料金にて修理いたします。なお、これらの修理には、買主への再出荷日から6か月間の保証が適用されます。

## 4. はじめに

ユーザーの皆様へ

2x2 DP デュアルモニター KVM スイッチなら、異なるプラットフォームの PC 機器をスムーズにまとめて接続でき、機器管理の手間を大幅に軽減します。デュアルディスプレイのマルチメディア作業環境の運用にも対応。同じ PC の映像出力ポート 2 つを KVM の同一入力グループに接続すると、2 画面の拡張表示または複製表示が行えます。PC を 2 台のディスプレイへ直接つないだ場合と同等の表示効果です。さらに、2 台のモニターに別々の PC 画面を表示することもできます。

本 KVM は USB 3.2 Gen 1 に対応し、超高速のデータ転送を実現します。DisplayPort は最大 8K@60Hz の解像度に対応し、鮮明な高精細映像と上質なサウンドをお楽しみいただけます。入力ポートの切り替えは、前面パネルのボタン、IR 信号、マウスホイール、キーボードのホットキーで操作可能。さらにキーボード／マウスの各モードにより、KM 互換性も大きく向上します。

ヒント：より多くのコンピューターを操作したい場合や、さらに高度でプロ仕様の切り替えが必要な場合は、当社の別製品もご検討ください。詳しくは公式サイトをご覧ください：[www.tesmart.com](http://www.tesmart.com)。

## 5. 特長

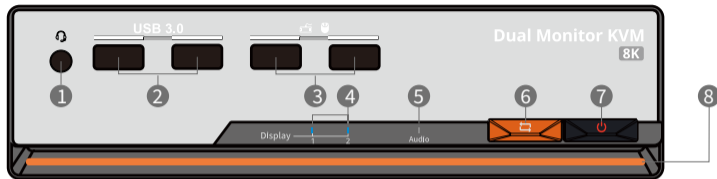
- 2台のモニターとキーボード／マウス1組で、2台のPCを操作可能
- 最大8K（4320p）@60Hzに対応し、4K（2160p）@60Hz/120Hz/144Hzとの下位互換あり
- DisplayPort 1.4 準拠
- 2つの表示モードに対応
- Unix/Windows/Debian/Ubuntu/Fedora/MacOS X/Raspbian/Raspberry Pi 向け Ubuntu など、Linux系OSに対応
- USB 3.2 Gen 1 対応（SuperSpeed の高速データ転送）
- PCの電源を切らずに、いつでもKVMへ機器の抜き差し（ホットプラグ）可能
- 各入力ポートにEDIDエミュレーターを搭載し、常に正しいディスプレイ情報をPCへ保持
- IR信号／前面パネルボタン／マウスホイール／キーボードのホットキーでKVMを操作し、入力ポートを切り替え可能
- キーボード／マウスはパススルーモードとレガシーエミュレーションモードに対応し、互換性を大幅に向上

## 6. 梱包内容

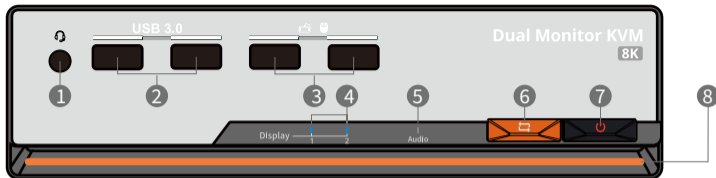
- Y 1 \* 2x2 DP デュアルモニター KVM スイッチ
- Y USB 3.0 ケーブル ×2
- Y DP ケーブル ×4
- Y IR リモコン ×1
- Y DC 12V 電源アダプター ×1
- Y 取扱説明書 ×1

ご注意：製品を受け取られましたら、同梱品に不足がないか、また輸送中に製品へ破損が生じていないかを確認するため、梱包内容をよくご確認ください。ご不明点や問題がございましたら、いつでもお気軽にお問い合わせください。

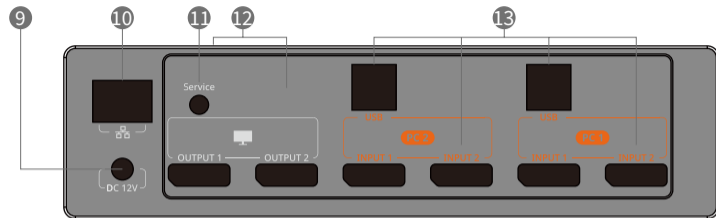
## 7. パネルの説明



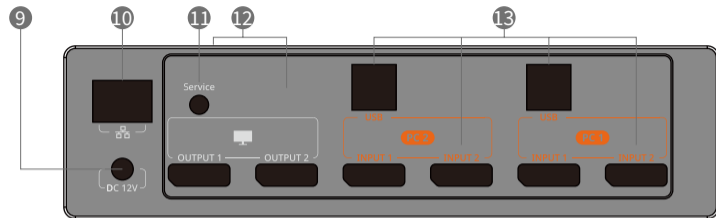
ID	名称	機能
1	3.5mm オーディオ／マイク	内蔵マイク搭載／L・R 音声出力対応。
2	USB 3.2 Gen 1 ポート	USB 3.0 機器を接続します。
3	キーボード／マウス入力	USB キーボード／マウスの入力に使用します。
4	表示ステータスインジケータ	各モニターの現在の出力状態を表示します。



ID	名称	機能
5	オーディオ / USB 3.0 インジケータ	オーディオおよび USB 3.0 の現在の接続経路を表示します。
6	入力切替ボタン	押すと入力ソースを切り替えます。
7	電源スイッチ	約 2 秒押すと、電源をオン / オフできます。
8	RGB LED ストリップ	雰囲気に合わせて選べる 4 つのライティングモードを搭載。モードの切り替え方法は 31 ページをご参照ください。

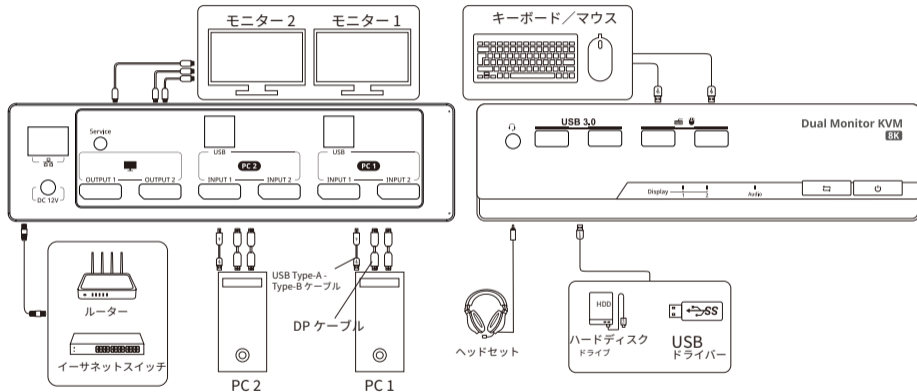


ID	名称	機能
9	DC 12V	12V DC 電源入力。
10	LAN ポート	このポートに LAN ケーブルを差し込み、入力側の PC 2 台をローカルネットワークに接続します。
11	IR 延長入力	リモコンの IR 信号を受信するため、IR 延長ケーブルをこのポートに接続します。



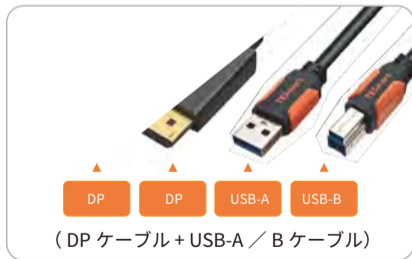
ID	名称	機能
12	DP 出力	映像出力用に DP ディスプレイを 2 台接続します。
13	KVM 入力ポートグループ	KVM には 2 台の PC を同時に接続できます。 各グループには DP ポート (Input 1/2 表示) × 2 と USB ポート × 1 が搭載されています。 信号を入力するには、各ポートを対応する入力機器に接続してください。

## 8. 接続の説明 8.1 接続図



## 8.2 接続前の準備

- ☒ 接続が必要な機器をすべて確認し、作業前に十分な広さの作業台を用意してください。
- ☒ 接続時は電源タップや延長コードを多く使用するため、電源まわりの取り回しがしやすいようケーブルを整然と配置してください。
- ☒ 接続に多くのケーブルを使用するため、識別できるよう種類別のステッカーラベルを用意してケーブルに貼ってください。



## 8.3 接続手順

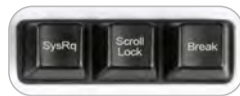
1. PC1 を USB-A - B ケーブル 1 本と DP ケーブル 2 本で接続し、PC1 を KVM の DP ポート群に接続します。USB-A 側は各 PC へ、USB-B 側は KVM へ接続してください。PC2 も同様に接続します。



2. KVM の DP 出力ポートを DP ケーブル 2 本で DP ディスプレイ 2 台に接続します。



3. 外付けのマウスとキーボードを、KVM のキーボード／マウス入力ポートに接続します。



ヒント：ホットキーを正常に使うため、[Scroll Lock] キーが独立して付いたフルキーの外付けキーボードの使用をおすすめします（上図参照）。

4. USB 3.0 デバイスを KVM の標準 USB 3.0 ポートに接続します。



5. 外部オーディオ機器を KVM の L/R 出力ポートに接続します。



6. ネットワークケーブルを 1 本使用します。片側を RJ45 ポートに接続し、もう片側をスイッチまたはルーターに接続してください。



- 電源ケーブルを KVM の DC 12V ポートに接続し、コンセントに差し込んでください。



- これで接続は完了です。電源を入れると、KVM スイッチが動作を開始します。

ヒント：標準では、ネットワークケーブルは同梱されていません。

## 8.4 KVM ワークベンチ

2×2 DP デュアルモニター KVM スイッチの接続が正常に完了したワークベンチを、以下に示します：



## 9. 機能説明

### 9.1 表示モードの説明

2×2 DP デュアルモニター KVM スイッチは、2つの表示モードに対応しています。2画面の拡張表示／複製表示、または2台のモニターに別々のPC画面を表示するなど、用途に合わせて選べます。

表示モード 1：同じ PC を表示

画面を複製



画面を拡張



ヒント：1. 複製／拡張の設定は、現在選択中の PC の「ディスプレイ設定」から行えます。

2. 同一 PC の 2 つの映像出力ポートを、同じ入力ポートグループの Input 1 と Input 2 に同時に接続した場合にのみ、2 画面の複製または拡張が可能になります。

## 表示モード 2：異なる PC を表示



このモードでは、KVM に接続した任意の 2 台のモニターに片方の PC を表示し、残りのモニターにもう片方の PC を表示できます。フロントパネル、ホットキー、または IR リモコンで、PC とモニターの切り替えを行います。

ヒント：異なる PC を別々のモニターに表示している場合、KVM に接続されたキーボードの右 [Alt] キーをダブルクリックすると、PC 間の操作対象（フォーカス）を切り替えられます。

## 9. 機能説明

### 9.2 キーボード／マウスエミュレーションモード

キーボードとマウスには、パススルーモードとレガシーエミュレーションモードの2種類をご用意しています。パススルーモードは、ほとんどのキーボード／マウスドライバーや多機能キーボード／マウスに対応します。レガシーエミュレーションモードでは、キーボード、マウス、ホットキー機能を安定して通常どおり使用できます。

- 通常は、より快適にご利用いただくため、パススルーモードの使用をおすすめします。これにより、次のことが可能になります：



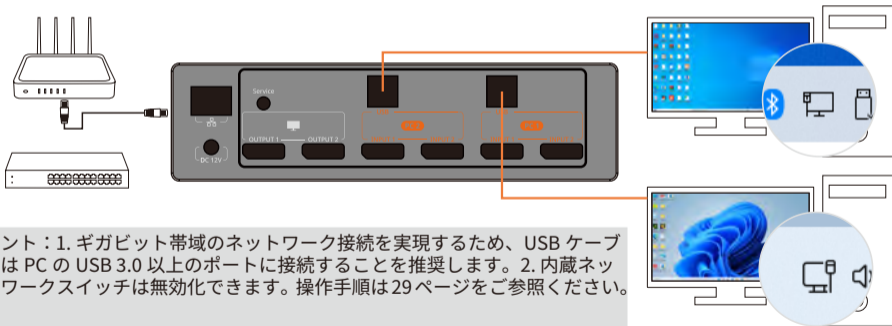
パススルーモードでキーボードやマウスに不具合が出る場合は、レガシーエミュレーションモードへの切り替えをおすすめします。

ヒント：1. 2つのモードを切り替えるには、28 ページを参照してください。切り替え後は、KVM を再起動してください。

2. レガシーエミュレーションモードでは、キーボード／マウスの制御ソフトは使用できなくなります。

### 9.3 内蔵ネットワークスイッチ

2×2 KVM スイッチには USB Ethernet アダプターを内蔵しており、KVM に接続した各 PC に標準 RJ45 ポートを追加できます。これにより、パソコンをルーターやネットワークスイッチへ接続し、ギガビットの有線ネットワークを利用可能です。最大 1000Mbps の Ethernet で高速かつ安定したデータ転送を実現し、多くの無線接続より信頼性に優れます。本機能はスイッチで追加されており、オン/オフを自由に切り替えられます。



ヒント：1. ギガビット帯域のネットワーク接続を実現するため、USB ケーブルは PC の USB 3.0 以上のポートに接続することを推奨します。2. 内蔵ネットワークスイッチは無効化できます。操作手順は 29 ページをご参照ください。

## 9. 機能説明

### 9.4 EDID エミュレーター

本製品の 2x2 DP KVM スイッチは、各入力ポートに EDID エミュレーターを搭載しており、PC が常に正しいディスプレイ情報を認識できるようにします。また、切り替えの前後で EDID を保持するため、開いているウィンドウの位置が固定され、レイアウトが崩れにくくなります。ホットキー操作で EDID エミュレーターの有効/無効を切り替えできます。初期設定では EDID エミュレーターは有効です。



切り替え/  
切り戻し



EDID  
エミュレーター  
有効



EDID  
エミュレーター  
無効

ヒント: 1. より快適にご使用いただくため、EDID エミュレーターは有効のままお使いください。KVM 使用中に表示の不具合が発生する場合は、EDID エミュレーターを無効にして再度お試しください。2. EDID エミュレーターは無効にすることもできます。操作手順は 29 ページをご参照ください。

## 9.5 マウスホイール切り替え

マウス操作で入力ソースを素早く切り替えられる方法です。マウスホイールをダブルクリックすると、次の入力ポートに切り替わります。マウスホイール切り替えモードは初期設定ではオフです。キーボードのホットキーコマンドでマウスホイール切り替えモードをオンにできます。29 ページを参照してください。

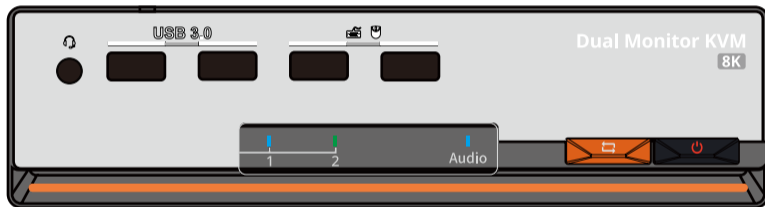


## 10. 操作方法


### 10.1 フロントパネルボタンによる切替方法

2×2 DP デュアルモニター KVM スイッチは、フロントパネルのキー、IR リモコン、キーボードのホットキーで、いつでも任意の入力機器へ切り替えられます。用途や操作の好みに合わせて、お好きな切替方法をお選びください。

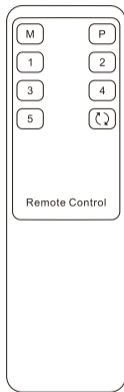
#### 方法



- 青色ランプは PC1、緑色ランプは PC2 を示します。

押す [  ] ボタンを押して切り替えます  
表示モード 1 で PC を切り替えます。

## 10.2 赤外線リモコン



- M** — ディスプレイ A の表示を切替 ディスプレイ B の表示を切替 両方のモニターを PC 1 表示に切替 両方のモニターを PC 2 表示に切替 ブザー音のオン/オフ
- P** —
- 1** —
- 2** —
- ↻** —

ヒント：上記で記載のないボタンは動作しません。

## 10.3 キーボード・ホットキー

### 10. 操作方法

☒ 外付けキーボードのホットキーで入力ソースを切り替えたり、その他の機能を設定したりできます ..

ヒント：キーボードのホットキーは、外付けキーボードを KVM のキーボード／マウス入力ポートに正しく接続している場合にのみ動作します。

2 秒以内に [Right-Ctrl] キーを 2 回押したら、3 秒以内にコマンドを入力してください。KVM が該当するコマンドを実行します。

前の入力ポートを選択：

[Right-Ctrl]→[Right-Ctrl]→[PgUp]



次の入力ポートを選択：

[Right-Ctrl]→[Right-Ctrl]→[PgDn]



ポート番号で選択（例：表示モード 1）：

[Right-Ctrl]→[Right-Ctrl]→[1]~[2]



モニターごとに別々に PC を切り替え（例：表示モード 2）：モニター 1：[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [←]



モニター 2：[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [→]



表示モード 2 でキーボード／マウスの操作対象を切り替え：

[右 Alt] → [右 Alt]



フォローモードを無効 / 有効にする :

ヒント : 「フォローモード」とは、切り替え時に前面パネルに接続されたオーディオ機器および USB 3.0 機器が、キーボード / マウスのフォーカス切り替えに合わせて同期して切り替わるかどうかを指します。

[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [~]



ヒント : フォローモードは初期設定で有効です。無効にするとブザーは短いビープ音が 1 回のみ鳴り、有効にすると短いビープ音が 2 回鳴ります。

フォローモードを無効にすると、次のホットキーでオーディオと USB 3.0 のチャンネルを PC 間で切り替えられます :

[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl]  
→ [0]



キーボード / マウスモードを切り替え :  
[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [F2]



ヒント : キーボード / マウスの初期設定はパススルーモードです。互換モードに切り替えるとブザーが短く 2 回鳴り、パススルーモードに切り替えると短く 1 回のみ鳴ります。

内蔵 LAN カードの無効 / 有効：  
[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [F4]



ヒント：内蔵 LAN カードは初期設定で有効です。有効にするとブザーが 2 回鳴り、無効にするとブザーが 1 回鳴ります。

EDID エミュレーターを無効 / 有効：  
[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [F5]



ヒント：EDID エミュレーターは初期設定で有効になっています。有効にするとブザーが 2 回鳴り、無効にすると 1 回鳴ります。

マウスホイール切替モードをオン / オフ：  
[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [F6]



ヒント：マウスホイール切替モードをオンにするとブザーが 2 回鳴り、オフにすると 1 回鳴ります。

ブザー音のオン／オフ切り替え：  
[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [F11]



ヒント：ブザー音は初期設定でオンになっています。ブザー音をオフ／オンに切り替えるには、この手順をもう一度行ってください。

ライティングモード切替：

ライティングをオフ：

[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [L] → [0]



KVM インジケータに  
応じてライト効果が変  
化：[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [L] → [1]



マーキー点灯エフェクト：

[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [L] → [2]



オレンジのブリージングライト：


[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [L] → [3]



## 11. ホットキーの組み合わせを変更

使いやすさのため、カスタムホットキー機能を内蔵しています。設定により、KVM に接続されたキーボード上の任意のキーを、ホットキーコマンドのトリガーキーとして使用できます。デフォルトのホットキートリガーキーは [Right-CTRL] です。カスタムホットキー機能は、次の方法で設定できます：

### 方法 1：

KVM の電源を入れた後、長く鳴るまで 10 秒間 長いビープ音が鳴ります。 ブザーが [  ] 前面パネルのボタンを 長く鳴るまで トリガーキーの設定を開始するとブザーが 5 秒間鳴ります。5 秒以内に、ホットキーのトリガーとして使いたいキーをキーボードで押してください。ボタンを押すと、案内音は止まり、設定は完了です。

### 方法 2:

- [Right-Ctrl]→[Right-Ctrl]→[F1] を押すと、ブザーが 5 秒間鳴ります。5 秒以内に、ホットキートリガーキーとして使いたいキーをキーボードで押してください。キーを押すと案内音が止まり、設定完了です。





**TESmart**

# スマートに楽しむ

DKS202 マスター 24

Tesla Elec Technology Co.,Ltd

CE FC   HDCP 

WEEE 登録番号：DE 66784279